

## <<TOPIC>>

11月のInternational Education Weekにて、アメリカ政府から毎年発表されるのが「Open Doors Report」です。この報告書では、世界各国からアメリカへの留学生のデータと、アメリカから世界各国へ留学する学生のデータを公開しています。

11月14日に発表されたデータは、アメリカへの留学は2021～2022年のアカデミック・イヤーの情報、アメリカからの留学は2020～2021年の情報となります。発表間もないこともあり関連記事は少ないですが、最新の状況を分析している記事2本を紹介した後に、Open Doors Reportのいくつかの項目（PDF）をご紹介しますと思います。

---

## コンテンツ

◆紹介記事◆	1
1) Open Doors Reportとは？ アメリカ国務省のプレスリリースをチェック	1
・記事1) deepL 日本語翻訳	1
・記事1) オリジナル本文(英語)	2
2) 世界各国からアメリカへの留学者生は回復傾向に	4
・記事2) deepL 日本語翻訳	4
・記事2) オリジナル本文(英語)	6
3) ベトナムやトルコからの留学生数の変化に注目	9
・記事3) deepL 日本語翻訳	9
・記事3) オリジナル本文(英語)	10
◆もっと知りたい場合◆	10

---

## ◆紹介記事◆

### 1) Open Doors Reportとは？ アメリカ国務省のプレスリリースをチェック

Open Doors Reportを発表したアメリカ国務省のプレスリリースをご覧ください。2)と3)の記事は、ここに示されている the Institute of International Education (IIE)のウェブサイトに掲されているデータが元となっています。

<https://www.state.gov/u-s-department-of-state-launches-international-education-week-open-doors-report-2022/>

・記事1) deepL 日本語翻訳

TITLE: 米国国務省、国際教育週間、オープン・ドアーズ・レポート 2022 を発表

11月14日から18日まで、米国国務省は米国教育省と共同で、国際教育週間(IEW)を祝います。これは、米国内および世界中のキャンパスやコミュニティにもたらす国際教育交流の重要性とその機会を高めるために毎年行われている共同作業です。今年のテーマ「Open for Opportunity」は、毎年発行される「Open Doors Report」で確認することができます。このレポートは、留学生の移動の傾向を測定・概説し、米国が留学生にとって世界最高の目的地としての順位を維持していると報告しています。海外から米国への留学生や米国人の海外留学を受け入れる国際教育交流は、米国の外交政策の重要な要素である「人と人の外交」の取り組みの基礎となる柱となっています。

本日、IEWの開幕にあたり、国務省は国際教育研究所(IIE)と共同で、毎年恒例の「Open Doors Report」を発表しました。Open Doorsのデータによると、2021/2022年度も米国は海外留学先としてトップであり、昨年から4%増の94万8519人の留学生を米国の大学に迎え入れました。Open Doorsのデータは、パンデミックが2020/21学年度のアメリカ人学生の留学プログラム参加に与えた影響についても洞察を与えています。米国の高等教育機関が学生の健康と福祉を守るために留学を一時停止したため、この時期に留学する米国の学生は少なくなり、バ

ーチャル体験やカスタマイズされた対面式サービスに頼ることになります。Open Doorsのデータの詳細については、the Institute of International Education (IIE)の[ウェブサイト](#)をご覧ください。

Open Doors Reportに加え、同省は1週間を通して、以下のような国際教育の重要な側面を強調します。米国留学を希望する留学生を募集するための#StudyWithUSの取り組み、多様性、平等性、包括性、アクセシビリティ(DEIA)の取り組み、歴史的黒人大学(HBCU)、ヒスパニック教育機関(HSIs)、重要言語奨学金プログラム、ベンジャミン・ギルマン、フルブライト奨学金プログラムなどの主要奨学金プログラムとの連携にスポットを当てていきます。また、Antony Blinken 国務長官と、ギルマン奨学金をきっかけにキャリアをスタートさせた外交官を招いての特別プログラムも開催されます。

詳細は、教育文化局国際教育ウィークのウェブサイトをご覧ください。報道関係のお問い合わせは、ECA-Press@state.gov までお願いします。ソーシャル・メディアの#IW2022 で会話をフォローしてください。

www.DeepL.com/Translator (無料版)で翻訳しました。

・記事1) オリジナル本文 (英語)

**TITLE : U.S. Department of State Launches International Education Week, Open Doors Report 2022**

U.S. Department of State / November 14, 2022

From November 14-18, the U.S. Department of State, in partnership with the U.S. Department of Education, will celebrate International Education Week (IEW), an annual joint effort to elevate the importance of and the opportunities that international educational exchange brings to campuses and communities, both in the United States and around the world. This year's theme,

'Open for Opportunity,' is confirmed through the annual Open Doors Report, which measures and outlines trends in international student mobility, and reports that the United States maintains its ranking as the top destination globally for international students. International educational exchange, which welcomes students from overseas to the United States as well as Americans studying abroad, is a foundational pillar of the U.S. people-to-people diplomacy efforts, a key component of U.S. foreign policy.

Today, to kick off IEW, the Department of State, in

collaboration with the Institute of International Education (IIE), released the annual Open Doors Report, which is available by request from the IIE. According to the Open Doors data, the United States was once again the top destination for international study in academic year 2021/2022, welcoming 948,519 international students to U.S. colleges and universities, a 4% increase from last year. The Open Doors data also provides insights into the pandemic's effect on American students' participation in study abroad programs in academic year 2020/21. With U.S. institutions of higher education pausing study abroad to protect the health and welfare of their students, fewer U.S. students studied abroad during this time frame, and relied on virtual experiences and customized in-person offerings. To learn more about the Open Doors data, visit the Institute for IIE [website](#).

In addition to the Open Doors Report, the Department will highlight key aspects of international education throughout the week, including: #StudyWithUS engagement efforts to recruit international students to study in the U.S.; diversity, equity, inclusion, and

accessibility (DEIA) efforts, spotlighting the Department's work with Historically Black Colleges and Universities (HBCUs), Hispanic Serving Institutions (HSIs), and key scholarship programs, such as the Critical Language Scholars and Benjamin Gilman and Fulbright Scholarship Programs; alumni of international educational exchange who have gone on to be impactful both in their communities and countries; and a special program with Secretary of State Antony Blinken and Foreign Service Officers, whose careers were jumpstarted thanks to their Gilman Scholarship experience.

More information can be found at the Bureau of Educational and Cultural Affairs International Education Week website. For press inquiries, contact [ECA-Press@state.gov](mailto:ECA-Press@state.gov). Follow the conversation on social media at #IEW2022.

## 2) 世界各国からアメリカへの留学生は回復傾向に

Inside Higher Ed では、IIE の Open Doors Report 発表当日にこちらの記事を出しました。同日行われた IIE によるプレゼンテーションを要約してくれたものとなっているので、調査結果の全体像をつかんでいただけたと思います。

<https://www.insidehighered.com/news/2022/11/14/international-students-are-coming-back-us-campuses>

・記事 2) deepL 日本語翻訳

### タイトル：海外からの入学者数が回復

Inside Higher Ed / 2022/11/14

新しいレポートによると、海外からの入学者は、パンデミック時の急落からほぼ回復している。しかし、いくつかの数字はまだパンデミック前の水準に達していない。

Institute of International Education (IIE) の新しい報告書「Open Doors」によると、留学生の入学者数は、パンデミックの影響で急減した後、昨年は回復している。米国における留学生の総数は、2020-21 年度に 15%減少した後、2021-22 年度には 4%増加し、今秋にはさらに 9%増加したとのことでした。

IIE の CEO であるアラン・グッドマンは、このリバウンドは過去の前例と一致すると述べています。

「私たちは、米国への留学生の移動に関する 100 年以上のデータを持っています。このデータには 12 回のパンデミックが含まれており、その際にも教育交流が行われ、その後急速に成長していることを示しています」と述べている。

2020-21 年度、米国の大学への外国人新規入学者数は 10 万人以上減少し、前年のほぼ半分になったという。しかし、昨年は留学生の新規入学者数が 80%増加し、パンデミック前の水準を

わずかに下回る水準に戻った。

また、昨年は入学した留学生の 90%が対面授業に戻ったこと、米国の高等教育機関の学生総数に占める留学生の割合が 4.7%であることも報告されている。

IIE の調査・評価・学習部門の責任者であるミルカ・マーテルは、パンデミック時に入学を許可されながら 1 年間延期していた学生が、ようやくキャンパスにきたために急増したのだらうと述べている。

大学院留学生は 17%増加し、パンデミック前の伸びを上回るなど、最も大きな回復を見せた。昨年は、この 10 年間で初めて大学院留学生が学部生を上回った。また、数学とコンピュータサイエンスは、昨年 10%増加し、エンジニアリングを抜いて留学生の主な研究分野となったことが報告されている。

しかし、いくつかのグループでは、パンデミックに端を発した減少が、それほど激しくはないものの続いている。学部 1 年生の留学生は 20%増加したが、学部留学生の総数は 4%減少。これは、パンデミック時に帰国した学生の多くが、帰国しなかったことを示唆している。

それでもマーテルは、全体的にはバラ色であり、この傾向が続くと期待しているという。

「COVID-19の大流行から2年足らずで、学生の流動性は力強く回復しています」と彼女は述べている。「これらの結果は、国際的な教育交流の継続的な回復力と、留学生を受け入れる米国の大学のコミットメントを強調するものです。」

### 中国からの入学者数は依然として減少

注目すべきは、2021-22年度の中国人留学生の入学者数が減少し続け、全体でさらに9%、学部生では13%減少していることだ。これは、2020-21年度の約15%減に続くものである。

それでも、中国は米国の教育機関にとって、留学生の受け入れ元として断トツのトップであることに変わりはない。しかし、第2位のインドは、米国への留学生が19%増加し、その差を徐々に縮めている。

米国教育文化省の学術プログラム担当副次官補であるイーサン・ローゼンツヴァイクは、中国からの留学生を再建する上で教育機関が直面しているハードルの一つは、COVID-19の制限により、リクルーターの中国入国がまだ許可されていないことである、と述べている。

「バイデン政権は、中国の学生を歓迎することを非常に明確にしています」と述べた。「私は、（中華人民共和国が）米国の大学が個人的に募集するために、すぐに国境を開くことを楽しみにしています。」

NAFSA（国際教育者協会）の公共政策・立法戦略担当シニアディレクター、レイチェル・バンクスは、国際募集担当者の長年の優先事項である中国人学生の獲得が依然困難であることは、他の国からの募集にもっと的を絞る必要性を示していると述べている。

「ここ数年、留学生の受け入れを多様化し、1カ国や2カ国に依存しないことがますます重要になってきています。」

### 国際的な問題に対する国家戦略

留学生が米国にとって重要である大きな理由のひとつは、その経済効果である、とバンクスは言う。NAFSAは本日、高等教育分野と米国経済全体における留学生の経済的価値に関する報告書を発表した。それによると、留学生は昨年、米国経済に340億ドル近く貢献したが、これはパンデミック以前の高水準の時期からまだ60億ドルも下回っているという。

この計算では、留学先のコミュニティにおける学生の購買力から、大学院生や修士課程の学生の研究やビジネスへの貢献まで、「ミクロとマクロの両方」が考慮されていると、バンクスは述べた。特に公立の大学では、州からの助成金削減を補うために留学生を受け入れているため、彼らの授業料は多くの大学にとって重要な収入源となっている。

バンクスは、IIEのデータは有望ではあるが、彼女と彼女の組織が何年も前から政府関係者に提起してきた問題、すなわち国際的な人材確保に関する「国家戦略」の必要性を浮き彫りにするものであると述べた。

「長い間、我が国は他の多くの国々と比べて強力な高等教育システムを持ち、それを学生誘致の名刺代わりにしてきました」と彼女は言います。「しかし、自国の国家戦略に積極的に取り組んでいる競合国に、ますます出し抜かれるようになったのです。」

カナダやイギリスをはじめとする競合国は、留学生がより簡単に、より魅力的に、より手頃な価格で学べるような移民・就労ビザに関する政策を展開しているとバンクスはいう。アメリカもそうして欲しいと願っているという。

「私たちは、より多くの国から、そして、必ずしも学費を負担できる学生だけでなくその国のあらゆる階層から、留学生を集める必要があります」と、彼女は言います。「このことは、競合国に対して、私たちが留学生にとってより高価な留学先であることを示すハードルとなっ

ています。」

また、最近の外的要因で、留学生が米国留学を敬遠している可能性も指摘した。アメリカのパンデミックに対する不手際、外国人嫌いの増加、銃乱射事件の脅威などだ。

「留学生は、教育機関だけでなく、留学先について非常によく考えています」とバンクス。「パンデミック以前から留学生の数は減少していましたが、COVID がそれを食い止めたのです。この最新のデータでは、その解決の蓋が少し開いたように感じますが、まだ本当に必要な状態には届いていないのです。」

### 米国人留学生の自宅待機

Open Doors の報告書には、2020-21 年度に留学した米国人学生のデータも含まれている。これは、海外留学生の入学者数データから 1 年遅れており、パンデミックの影響により、大多数の米国人学生が海外から速やかに帰国するか、予定していた留学を中止せざるを得なくなったことを反映している。報告書によると、海外留学する学生数は 91% 減少し、その年に留学した学生の 60% 近くが 2021 年の夏に留学してい

る。

留学先上位国はこの減少の間、比較的安定しており、2019-20 年度と同様にイタリア、スペイン、フランス、イギリスが上位を占めた。韓国は 5 位に躍進し、以前から人気のあったデンマークとコスタリカは、より劇的な減少を経験した。

全体として、2020-21 年度に留学した米国の学生は、前年度の 15 万人以上から 1 万 5,000 人未満となった。しかし、遠隔地でのインターシップ、ビデオ会議での対話、海外の教育機関との授業など、オンラインのグローバル学習の機会に参加した学生は 3 万 3,000 人近くに上った。

「これは、COVID-19 の大流行で旅行ができなくなったとき、米国の教育機関がいかに機敏に反応して学生にオンラインの機会を提供したかを示すものです」とマーテルは述べている。

www.DeepL.com/Translator（無料版）で翻訳しました。

・記事 2）オリジナル本文（英語）

### **TITLE: International Enrollment Rebounds**

Inside Higher Ed / November 14, 2022

International enrollment has largely recovered from a steep drop during the pandemic, according to a new report. But some numbers are still short of pre-pandemic levels.

International student enrollment bounced back last year after a steep pandemic-fueled decline, according to a new “Open Doors” report from the Institute of International Education. The total number of international students in the U.S. increased by 4 percent in the 2021–22 academic year and an additional 9 percent this fall, following a 15 percent drop in 2020–21.

Allan Goodman, IIE’s CEO, said the rebound is consistent with historical precedent.

“We have over 100 years of data on international student mobility to the United States. This data includes 12 pandemics and shows that educational exchanges occur even during them and grow rapidly afterwards,” he said.

In 2020–21, new international enrollments in U.S. colleges and universities dropped by over 100,000, cutting the previous year’s numbers almost in half, according to the report. But last year, new international student enrollment increased by 80 percent, returning to just below pre-pandemic levels.

The report also found that 90 percent of enrolled international students returned to in-person learning last year, and that international students accounted for 4.7 percent of U.S. higher education’s total student population.

Mirka Martel, IIE’s head of research, evaluation and

learning, said the jump likely occurred because students who'd been accepted during the pandemic but deferred for a year finally came to campus.

International graduate students saw the largest rebound, rising by 17 percent and surpassing pre-pandemic levels of growth. Last year marked the first time in a decade that international graduate students outnumbered undergraduates. The report also found that math and computer science surpassed engineering as the primary field of study for international students, with an increase of 10 percent last year.

But among some groups, the pandemic-triggered decline continued, albeit less drastically. While enrollment of first-year international undergraduates rose by 20 percent, total international undergraduate enrollment fell by 4 percent, suggesting that many students who moved home during the pandemic did not return.

Still, Martel said the overall picture is rosy, and she's hopeful that trend will continue.

"Less than two years following the outbreak of the COVID-19 pandemic, student mobility has made a strong comeback," she said. "These findings highlight the continued resilience of international educational exchange and the commitment of U.S. colleges and universities to host international students."

### **Enrollment From China Still Down**

Notably, Chinese student enrollment continued to fall in 2021–22, dropping another 9 percent overall and 13 percent among undergraduates. That follows a nearly 15 percent drop in 2020–21.

Even so, China remained by far the top source of international students for U.S. institutions. But India, the No. 2 source, saw a 19 percent jump in U.S.-bound students, slowly closing the gap.

Ethan Rosenzweig, the deputy assistant secretary for academic programs at the U.S. Bureau of Educational and Cultural Affairs, said one hurdle institutions have faced in rebuilding international enrollment from China is that recruiters still aren't allowed to enter the country due to COVID-19 restrictions.

"The Biden administration has been very clear that Chinese students are welcome here," he said. "I'm looking forward to the [People's Republic of China] opening its borders for U.S. universities to recruit in person very soon."

Rachel Banks, senior director for public policy and legislative strategy at NAFSA: Association of International Educators, said the continued difficulty in gaining back Chinese students—a longtime priority of international recruiters—illustrates the need for

more targeted recruitment from other countries.

"Increasingly over the past several years, I think it has become clear how important it is to diversify international student enrollment so we're not just relying on one or two countries," she said.

### **A National Strategy for an International Problem**

One major reason international students are so important to the U.S. is because of their economic impact, Banks said. Today, NAFSA released a report on economic value of international students—both to the higher education field and to the U.S. economy as a whole—that found that the group contributed nearly \$34 billion to the U.S. economy last year, which is still \$6 billion below the pre-pandemic high-water mark.

The calculation takes into account "both the micro and the macro," Banks said, from the purchasing power of students in their host communities to the research and business contributions of graduate and postgrad students. Their tuition dollars are also an important source of revenue for many institutions, especially publicly funded colleges and universities that have used international enrollment as a way to offset cuts to state funding.

Banks said the IIE data, while promising, highlight an issue she and her organization have raised with government officials for years: the need for a "national strategy" on international recruitment.

"For a long time, we've really coasted on just having a strong higher education system compared to most other countries and have relied on that as a calling card for attracting students," she said. "But we've been increasingly outmaneuvered by competitors who have moved aggressively to define their own national strategies."

Banks said those competitors—Canada and the United Kingdom, chief among them—work to develop policies on immigration and work visas that make it easier, more appealing and more affordable for international students to study there. She wants the U.S. to do the same.

"We need to make sure that we're pulling from a broader number of countries and also, within those countries, from all levels of society and not necessarily just those students who can afford the price tag," she said. "That is definitely a hurdle that we face against some competitors, is that we are by far one of the more expensive destinations for an international student."

She also noted that international students may have been turned off from studying in the U.S. by a number of recent external factors: American mismanagement

of the pandemic, increasing xenophobia and the threat of widespread gun violence among them.

“International students are very savvy in thinking about their destinations beyond just the institution,” Banks said. “We were already seeing international student enrollment decline before the pandemic, and COVID really put a lid on it. We’ve seen that lid lift a bit with this latest data, but it’s not where it was or, really, where it needs to be.”

### **U.S. Students Stayed Home**

The Open Doors report also includes data on U.S. students studying abroad during the 2020–21 academic year—which is a year behind the enrollment data and reflects the impact of the pandemic on forcing the vast majority of American students to quickly return from overseas or cancel upcoming study abroad plans. The number of students studying abroad plummeted by 91 percent, according to the report, and nearly 60 percent of students who did study abroad that year did so during the summer of 2021.

The top destination countries remained relatively stable throughout this decline, with Italy, Spain, France and the United Kingdom topping the list, as they did in 2019–20. South Korea advanced to the No. 5 spot, while Denmark and Costa Rica, previously popular destinations, experienced more dramatic declines.

Over all, fewer than 15,000 U.S. students studied abroad during 2020–21, compared with over 150,000 the previous academic year. However, nearly 33,000 students participated in online global learning opportunities, a category that included remote internships, videoconference dialogues and classes with foreign institutions.

“This showcases how U.S. institutions nimbly reacted to provide students with online opportunities when they were unable to travel due to the COVID-19 pandemic,” Martel said.



### 3) ベトナムやトルコからの留学生数の変化に注目

アメリカへの留学生数は、中国人とインド人が群を抜いて多いのは広く知られていることかもしれませんが、では、それ以外の国はどのようなのでしょうか。この記事ではベトナム人留学生とトルコ人留学生の動向について取り上げています。

<https://erudera.com/news/vietnam-ranks-fifth-in-number-of-international-students-in-us-according-to-report/>

・記事 3) deepL 日本語翻訳

#### タイトル：ベトナム、米国での留学生数で5位に、報告書によると

Erudera News / 2022/11/25

ベトナムからの留学生は現在、米国内の留学生の中で5番目に大きなグループを占めていることが、国際教育研究所 (IIE) が発表した年次報告書「Open Doors」によって明らかになった。

Erudera.com の報道によると、昨年と同報告書では、ベトナム人学生は同国の留学生の中で6番目に大きなグループを代表していた。

「米国が米-ベトナム包括的パートナーシップ10周年を迎えるにあたり、Open Doors のデータは、教育が依然として二国間関係の礎であり、現在の教育協力の性質がすでに戦略的であることを実証するものです」と米国の文化担当補佐官 Genevieve Judson-Jourdain は述べている。

データによると、米国の教育機関で学ぶベトナム人留学生の数は、ほぼすべてのレベルで増加している。大学院課程では 6.5%、非学位課程では 23.3%、選択的実務研修 (OPT) 課程では 4.4% の増加となっている。

在ベトナム米国大使館・領事館のウェブサイトに掲載された声明では、「経済規模および GDP 生産量に基づき、ベトナムが他のすべての国と比較して米国への留学生の最大の供給源であることが報告された」と述べている。

「ベトナム人留学生は、科学・技術・工学・数学 (STEM) やビジネス・経営学など、米国の教育機関において戦略的に重要な科目で強い足取りを示し続けています。ベトナム人学生の STEM 専攻の割合は 47.1%、ビジネス/経営専攻の割合は 25.6% です」と大使館の声明は述べている。

2021-2022 年度の米国における留学生全体は 4% 増加したが、米国の大学やカレッジに初めて入学した留学生の数は 80% 増加した。また、米国の全州で留学生の新規入学者数が増加しており、50 州のうち 40 州で 50% 以上の増加となっていることが数字で示されている。

同大使館によると、在ベトナム米国大使館及び総領事館は、ベトナムの大学と米国の大学間の研究および両国の学生、教員、職員の交流に関するパートナーシップを強化することに尽力しているとのことだ。

Open Doors のレポートでは、米国ではトルコからの留学生が過去 10 年以上で最も増加したことも明らかにされた。2021-2022 年度に米国の高等教育機関に在籍するトルコ人学生は、4.4% 増加。報告書の発表後、在トルキエ米国代表部は、この結果はトルコと米国の教育における強力なパートナーシップを示すものであると述べている。

・記事3) オリジナル本文 (英語)

**TITLE: Vietnam Ranks Fifth in Number of International Students in US, According to Report**  
Erudera News / November 25, 2022

Students from Vietnam now represent the fifth largest group of international students in the United States, the annual “Open Doors” report released by the Institute of International Education (IIE) has revealed.

Last year, according to the same report, Vietnamese students represented the sixth largest group of international students in the country, Erudera.com reports.

“As the United States approaches the 10th Anniversary of U.S.-Vietnam Comprehensive Partnership, the Open Doors data is demonstrable proof that education remains a cornerstone of the bilateral relationship, while the nature of our current educational cooperation is already strategic,” US Assistant Cultural Affairs Officer Genevieve Judson-Jourdain said.

Data indicate that the number of Vietnamese students in the US institutions has increased at almost all levels of study. The number of students in graduate programs has increased by 6.5 percent, non-degree programs by 23.3 percent, whereas of those at Optional Practical Training (OPT) programs by 4.4 percent.

In a statement posted on its website, the US Embassy and Consulate in Vietnam said that based on the “economy size and measured through GDP output,” report shows that Vietnam now is the largest source of international students to the US compared to all other countries.

“Vietnamese students also continue to demonstrate a strong footing in strategically important subjects across U.S. institutions such as science, technology, engineering, and math (STEM) and business/management studies. The percentage of Vietnamese students pursuing STEM and business/management majors are 47.1 percent and 25.6 percent respectively,” the embassy’s statement reads.

Overall, international students in the United States increased by 4 percent during the 2021/22 academic year, whereas the number of international students enrolling for the first time at US universities and colleges rose by 80 percent. Figures also show an increase in the number of new international student enrollment across all US states, with 40 of 50 states experiencing a rise of more than 50 percent.

The embassy said that the US Mission in Vietnam is dedicated to strengthening the partnerships between universities in Vietnam and those in the United States regarding research and exchanges for students, faculty, and staff in the two countries.

Open Doors report has also shown that the United States has experienced the highest increase in the number of students from Turkey in more than ten years. Turkish students enrolled at US higher education institutions in the 2021/22 academic year increased by 4.4 percent. After the report's publication, the US Mission in Türkiye said that the results show the strong partnership in education between Turkey and the United States.

◆もっと知りたい場合◆

要チェック！Open Doors Report のデータ※全て英語

1. Fast Facts 2022 : [https://opendoorsdata.org/fast\\_facts/fast-facts-2022/](https://opendoorsdata.org/fast_facts/fast-facts-2022/)  
→ 2 ページで記された報告書の概要。日本からの留学生及び日本への留学生が世界全体で何位かなどがチェックできます。
2. 2022 Fact Sheet JAPAN: [https://opendoorsdata.org/fact\\_sheets/japan/](https://opendoorsdata.org/fact_sheets/japan/)

→ 日本からの留学生数及び日本へのアメリカ人留学生数の変化を 2012-2013 年度から概観できる 1 ページの PDF。

3. U.S. Study Abroad – All Destinations: <https://opendoorsdata.org/data/us-study-abroad/all-destinations/>

→ アメリカ人が何人どの国へ留学へ行ったか、のデータを、全ての留学先（国）ごとに掲載。

4. International Students – All Places of Origin: <https://opendoorsdata.org/data/international-students/all-places-of-origin/>

→ アメリカにいる留学生がどの国出身なのか、のデータを掲載。

5. U.S. Study Abroad – Fields of Study: <https://opendoorsdata.org/data/us-study-abroad/fields-of-study/>

→ アメリカから海外へ留学した学生の専攻・研究分野データを 2000-2001 年度から掲載。

6. Intensive English Programs : <https://opendoorsdata.org/annual-release/intensive-english-programs/#presentation>

→ 日本からアメリカへ行く学生は、語学研修目的のケースが多い様。人気の州やプログラム開催期間の長さなどの情報をプレゼン資料として掲載。